

IGF 2023 に向けた国内 IGF 活動活発化チーム 第 2 回会合 議事録案

1. 会合の概要

日時: 2021 年 6 月 7 日(月)17:00~19:00

会場: オンライン

主催: 一般社団法人日本インターネットプロバイダー協会(JAIPA)

一般社団法人日本ネットワークインフォメーションセンター(JPNIC)

参加者数: 23

参加者一覧(五十音順・敬称略):

飯田 陽一	総務省
上田 格	日本電気株式会社(NEC)
大内 朋哉	総務省
大橋 由美	
小畑 至弘	BizMobile 株式会社
加藤 幹之	MK Next
金海 好彦	NEC
兼保 圭介	NEC
上村 圭介	大東文化大学
木村 孝	JAIPA
佐藤 信二	
実積 寿也	中央大学
高松 百合	株式会社日本レジストリサービス(JPRS)
立石 聡明	JAIPA
田畑 伸也	総務省
橋川 和利	ケーブルテレビ徳島株式会社
濱口 智美	総務省
浜田 忠久	JCAFE
堀田 博文	JPRS
本田 聖	
前村 昌紀	JPNIC
百崎 知	ソニーネットワークコミュニケーションズ株式会社
山崎 信	JPNIC

司会進行: 前村 昌紀(JPNIC)

議事録案作成: 山崎 信(JPNIC)

2. 資料：

1. キックオフ会合議事録案
2. [IGF 2023 に向けた国内 IGF 活動活発化チームチャーター案](#)
3. IGF2021 事前イベント スケジュール(案)
4. IGF2023 そしてその先に向けた道筋(towardIGF_v0.6.pdf)
5. [日本におけるインターネットガバナンス関連活動の経験と課題](#)
6. [ワークプランの枠組み\(たたき台\)_v0.1](#)

3. アジェンダ：

3.1. 前回議論の振り返り→ 参照:資料 1

3.1.1. 前回議論の振り返り

3.1.2. 宿題の進捗確認

	状況	内容	担当	期日
1		以下資料の内容を確認の上、修正/追記する ・日本におけるインターネットガバナンス関連活動の経験と課題< https://docs.google.com/document/d/1FS1lc-wFCxD94lTjD6TjKMvjUuFkh48Jrq8nBp20U5k/edit?usp=sharing >	全員	未定
2		全体ワークプランを確認し、各自意見を書き込む < https://docs.google.com/spreadsheets/d/1lf9B9C4mwbg64jgzSeA7DQ_0oUZ-QjO-Qq67xGaVy1s/edit?usp=sharing >	全員	未定
3		IGF 2023 に向けた国内 IGF 活動活発化チームのチャーター案を作成する	前村	6/7
4		IGF2021 事前イベントに向けたスケジュール案を作成する	高松	6/7

3.2. 本日の打合せの目的確認

- ・ チャーターについての意見交換
- ・ IGF2021 事前イベントに向けた対応についての意見交換

3.3. IGF2023 ホスト(政府)としての検討状況報告

3.4. 本会議の位置づけ確認

3.4.1. 本チームのチャーター案について

3.4.2 今後のチャーター案確定に向けた進め方について

3.5. IGF2021 事前イベントについて

3.5.1. 基本方針の確認

3.5.2. スケジュール案についての意見交換

3.5.3. 各チームの担当(責任者+若干名)の決定

3.6. 今後の進め方

- ・ TODO 確認
- ・ 次回アジェンダ(たたき台)
- ・ 各チームの検討スケジュール紹介
- ・ 各チームの検討状況共有
- ・ 次回打合せの開催時期
- ・ 次回打合せ時に追加で声をかけるべきメンバーは？

3.7. その他

4. 議論の概要

司会の前村氏より、本日の資料の確認が行われた。次いでアジェンダに沿って議論が行われた。

4.1. 前回議論の振り返り→ 資料 1

第 1 回 (キックオフ) 会合議事録案 (資料 1) に参加者名を記載することおよび議事録を公開することについて、および各会議の録画を公開することについて、参加者に同意を求めた。これに対し、立石氏より、発言者が公開に同意しない旨申し出た場合には、その部分を議事録もしくは録画から省くべきという意見の表明があり、特に反対はなかった。また、上村氏からは、議事録には名前だけでなく所属も記載すべきという意見があり、それに対し特に異論が出なかった。併せて、第 1 回参加者全員にメールを送り確認することが

司会より表明された。

司会より、コメント募集中の文書が次の通り紹介された。

- IGF 2023 に向けた国内 IGF 活動活発化チームチャーター案(資料 2)
- IGF 2021 事前イベントスケジュール案(資料 3)
- 日本におけるインターネットガバナンス関連活動の経験と課題(資料 5)
- ワークプランの枠組み(たたき台)_v0.1(資料 6)

4.2. 本日の打合せの目的確認／4.4. 本会議の位置づけ確認 → 資料 2

4.2.1. チャーターについての意見交換／4.4.1. 本チームのチャーター案について

資料 2 を基に、司会より説明があった。上村氏より、本チームの名称「2023 に向けた国内 IGF 活動活発化チーム」の名称が実態と合っていないのでは、内容に合った名称にした方がよいのでは、という意見があった。司会より、この名称のまま進めさせてほしい、との意見が表明された。

実積氏より、幹事会を先に作っておいて会員組織のようなものを作るのか、作っていくうちに人数が増えるようなチームがコアとなって日本の IGF 国内活動を支えるのか、どちらになるのかという質問と、参加資格としての発言回数閾値、およびどのような団体にしたいのか、という質問があった。司会より、本チームは日本の国別 IGF 活動を活発化するために自由に参加していただくことを考えていること、ローカルホスト委員会／実行委員会は別の形で起動されると思うが、そちらに対しては本チームがオープンな会員制度を持つ会として協力すると考えている、との回答があった。

次に司会より、活動原則として、IGF が示している次の中心5原則(core principles)を本チームチャーターに含めたい旨が示された。

- 1) オープンかつ透明 Open and transparent
- 2) 包摂的 Inclusive
- 3) ボトムアップ Bottom-up
- 4) マルチステークホルダー Multistakeholder
- 5) 非営利 Non-commercial

これに対し、文言についての意見が立石氏および上村氏からそれぞれあった。立石氏からは「ボトムアップ」への違和感が表明され、上村氏からは全体的に国連用語および IGF 用語に寄せてもよいのではないかと、意思決定については NRI ツールキットに合わせて、中心原則から外へ出すべき、という意見があった。実積氏からは、意思決定を行う際の原則であるラフコンセンサスの判断をどのようにするのか、という質問があった。司会からは明確な基準は現時点ではない旨回答があった。堀田氏からは、「複数の人から反対がないこと」としておいて、問題が起きたらその時点で意思決定方法を見直すことにしてはどうかという提案があり、実積氏からは、「会合開催時点の登録会

員の 10 パーセント以上から反対がないこと」としてはどうかという提案があった。実積氏からはさらに、チャーターの改定に関する規定を追加すべきという提案があった。

上田氏からは、チャーター中に会の構成が書いてあるとよいのではないかと意見があったが、全員がフラットで特に司会が権限を持つということはないと思う、との意見が堀田氏より提示された。加藤氏からは、フラットであることをチャーター中に明示的に記載してはどうか、という提案があった。実積氏からは、議長を決めておかないと会議の招集が混乱するのでは、ラフコンセンサスかどうかの確認および成立宣言ができないのでは、という意見があった。これに対し立石氏より現時点では特に決めないことにする、ということを決めておけばよいのでは、という意見があった。司会より、現時点では議長を決めないでやってみることにしてはどうか、という意見が表明された。

上田氏からは、参加者が悪意を持って活動を邪魔しようとした際に参加資格のはく奪のようなことも決めてもよいのではないかと、この提案があった。司会より、提案を記録したとの回答があった。

4.4.2 今後のチャーター案確定に向けた進め方について

司会より、これまでに表明された意見を反映させたチャーター案を作成し、次回会合で内容を確認することにしたい旨、表明があった。特に異論は出なかった。

4.2.2. 事前イベントに向けた対応についての意見交換／4.5.3. 各チームの担当(責任者+若干名)の決定

高松氏より、資料 3 に基づいて説明があった。本田氏より、各(プログラム、ステークホルダーエンゲージメント、イベント実施)チーム/グループの規模について質問があり、堀田氏より各チーム 3 名程度、ただしセッション提案の審査を行う委員会はマルチステークホルダーによる審査員が集まることになるので、5 名以上 10 名以下と想定している、ステークホルダーエンゲージメントについても 3 名よりは多くないとカバーできないのではないかと、このコメントがあった。堀田氏からはさらに、各グループで集まってみてタスクリストを作成してみて、何人くらい必要かということを見極める必要があるのではないかと意見もあった。

次に、実際に各グループに出席者から参加を募り、もしくは参加の打診が行われた。各グループメンバーの一覧は以下に掲載されている。

<https://docs.google.com/document/d/1nbfzED-mQgRLwy4OU4Q-gjtKYwDj9oqmoZOz7o1Aw8/edit?usp=sharing>

加藤氏より、各ステークホルダーに働きかける際に、充実した内容の説明文があると効果があると思う、期待する内容を伝えることと、働きかけ先組織で関与している委員会などに関わっている人をピンポイントで指定する必要があるため、プログラム委員会で議論したうえで声を掛けることになる、というコメントがあった。堀田氏より、エンゲージメントグループに政府からも参加を希望する旨コメントがあり、これに対し飯田氏より特定の人固定ではなく総務省という形で意見交換しながら参加し

たい旨返事があった。

4.3. IGF2023 ホスト(政府)としての検討状況報告

飯田氏より、報告できるほど進展はないが、もう少ししたら進展しそうな時期になるので改めて報告したい旨発言があった。

4.5. IGF2021 事前イベントについて→ 資料 3

4.5.1. 基本方針の確認

司会より、基本方針として、オープニングスピーチ、クロージングスピーチも枠を設ける、プログラム全体のテーマは設けない、プログラム全体に設けるセッションは 2、3 個という、紹介があり、意見を求めた。上村氏より、プログラム委員はこの基本方針に沿ってプログラム枠を考えることになるのか、と質問があり、司会より、その通りである旨回答があった。

4.5.2. スケジュール案についての意見交換

高松氏からの説明後、特に意見はなかった。

4.6. 今後の進め方

チャーター案については前村氏がコメントを反映した版を次回会合で用意することとなり、IGF 2021 事前会合に向けたプログラムグループおよびエンゲージメントグループについては、前者が兼保氏と堀田氏、後者が立石氏と前村氏で進め方の案を作って他のメンバーに共有することとなった。イベント実施グループについては、前村氏と山崎で担当したい旨前村氏から表明があった。

次回会合は、3 週間後の 6 月 28 日月曜日 17 時から 19 時に開催することを決定した。

4.7. その他

メーリングリストに加入することが連絡などに必要となっているが、最近参加した人はメーリングリストに入っていない可能性があるため、ぜひ入っていただきたい旨山崎より連絡を行った。

以上